

「第6回 日本くすりと食品機能フォーラム」

平成29年7月30日(日)

- 講演概要と受講者の声
- 受講者概要
- 受講者理解度
- 健康サポート薬局について

講演1

「水溶性食物繊維の機能性と医療分野での実施例」

安川 然太(太陽化学 ニュートリション事業部)

講演2

「特定保健用食品『黒烏龍茶』の開発」

寺本 貴則(サントリー食品インターナショナル株式会社 ジャパン事業本部 商品開発部)

「第6回 日本くすりと食品機能フォーラム」の概要と受講者の声

講演 1

講演1「水溶性食物繊維の機能性と医療分野での実施例」

安川 然太(太陽化学 ニュートリション事業部)

受講者の声

自分でも試してみたい。

糖尿病の方に勧めたい。

下痢にも便秘にも効くことが分かった。

経腸栄養剤の服用で下痢をしている人に奨めたい。

ストレス性便秘異常にも使ってみたい。

腸内フローラの大切さが興味深かった。

データと合わせた説明があり、理解できた。

高齢者の排便コントロールは問題になっており、参考になった。

デメリットも知りたい。

概要

【日本人の“おなか環境”】

日本は世界で最も大腸癌死亡率の高い国の一つであり、慢性難治性炎症である潰瘍性大腸炎患者数は直線的に増加している、その原因として遺伝的、および環境的原因が考えられ、特に環境的要因が大きいと考えられる。人口乳、抗生剤、ストレス、運動不足、低食物繊維、高脂肪、過衛生などなど西洋の生活様式が腸内細菌の構成の乱れを促し慢性炎症や代謝機能不全を引き起こしていると考えられている。

腸内細菌に最も影響するのは“前日に摂取した食物繊維の量”であるとの報告もあり、食物繊維の腸内細菌に与える影響は大きい。一方、日本人の食物繊維摂取量は年々減少し、年齢によって異なるが摂取基準である20g/日を大きく下回って平均14g/となっており、野菜摂取量についても米国よりも少なくなっている。

食物繊維には便のカサを増やす不溶性食物繊維と、腸内細菌叢を整えて便秘を改善する水溶性食物繊維の2種類に分けられる。食品中の水溶性食物繊維の割合が少ないことから水溶性食物繊維は日常的な食事のみでは摂取しにくい。腸には吸収機能の他に、バリア機能、受容・伝達・応答機能などの重要な機能があるため、腸内環境を整えることが健康に重要と考えられている。

【グアーガム分解物グアーガム分解物について】

グアー豆由来の水溶性食物繊維であり、酵素分解により粘度が低くなっていることから、食品として使いやすい。基本骨格は、鎖状のD-マンノースにD-ガラクトースの分岐がある特徴的な糖鎖構造(ガラクトマンナン)をとっている。グアーガム分解物を摂取すると胃と小腸を通過し、腸内細菌でほぼ100%が発酵・分解される。そして、生理効果としてコレステロール脂質改善や耐糖能改善などのメタボリックシンドロームに対する効果、および下痢改善や便秘改善などのプレバイオティクス効果を有する。

腸内細菌には乳酸菌やビフィズス菌などの善玉菌(発酵菌)、大腸菌やウェルシュ菌などの悪玉菌(腐敗菌)、およびバクテロイデスや大腸菌などの日和見菌が存在し、それぞれ2:1:7などバランスが重要と言われている。グアーガム分解物は善玉菌を増殖させることが明らかとなっている。

いい便をつくるには食物繊維が重要である。グアーガム分解物の摂取により、便秘傾向の成人男女、そして慢性便秘患者で便秘改善効果が認められた。また、グアーガム分解物は健康な女子大生の一過性の下痢に対して抑制効果が明らかとなり、さらにグアーガム分解物の摂取により流動食による下痢予防効果が確認された。それらの作用から、特別養護老人ホームで“オムツゼロ”の取り組みの中でグアーガム分解物が利用されている。

グアーガム分解物は食後血糖値の上昇抑制効果が認められ、さらにグアーガム分解物の摂取は脂質がやや高めの若い女性の血清コレステロール値、および血糖値を低下させた。また、ウエスト周囲、尿中アルブミン、HbA1c、飽和脂肪酸を低下させることが確認された。そして満腹感を維持することから食べ過ぎを防止することができるものと考えられている。

これらより、「食後血糖上昇抑制」「便秘改善」「一過性の下痢抑制」を謳ったトリプル表示商品として、グアーガム分解物を機能性関与成分とした機能性表示食品が受理されている。

「第6回 日本くすりと食品機能フォーラム」の概要と受講者の声 講演 2

講演2

「特定保健用食品『黒烏龍茶』の開発」

寺本 貴則(サントリー食品インターナショナル株式会社 ジャパン事業本部 商品開発部)

受講者の声

商品開発の過程と苦労が分かった。

トクホを上手に活用して生活したい。

トクホは有効だと感じた。

トクホの効果に対する信ぴょう性が分かった。

トクホと機能性表示食品の違いの説明は、知識が無かったので勉強になった。

脂肪の吸収抑制の仕組みが分かった。

データと合わせての説明で納得した。

概要

【制度について】“特定保健用食品(トクホ)”は身体の生理機能などに影響を与える特定の成分を含んだ食品のことで、有効性・安全性・品質などの科学的根拠を提示し、有識者による国の審査・評価を経て消費者庁より表示が許可される制度である。トクホには4種類の類型があり、トクホよりもエビデンスが曖昧な“条件付き特定保健用食品”、許可実績が豊富で科学的根拠が蓄積されている“規格基準型特定保健用食品”、関与成分の疾病リスク低減効果が医学・栄養学的に確立されている“疾病リスク低減表示特定保健用食品”に分類される。現在、保健の用途として、整腸、脂肪(食事の脂肪、体脂肪)、歯、コレステロール、骨、血圧、血糖、肌に対する効果が認められている。

一方、トクホの開発期間や投資コストの企業負担を軽減すべく、アベノミクスの規制緩和の一環として平成15年4月より“機能性表示食品制度”が施行された。トクホと機能性表示食品の大きな違いは、前者は国が審査・許可する許認可制であるのに対し、後者は国の形式審査はあるものの企業の自己責任で効能を表示することができる点である。そして、国に提出した内容は、原則、すべて公開となり、消費者にとって分かりやすい形で情報提供を行うという義務もある。機能性表示食品の領域としては脂肪・脂質に関するものの数が多く、次いで整腸、血糖、目、肌、血圧、ストレス、睡眠、関節、骨、認知機能、疲労の順となっている。

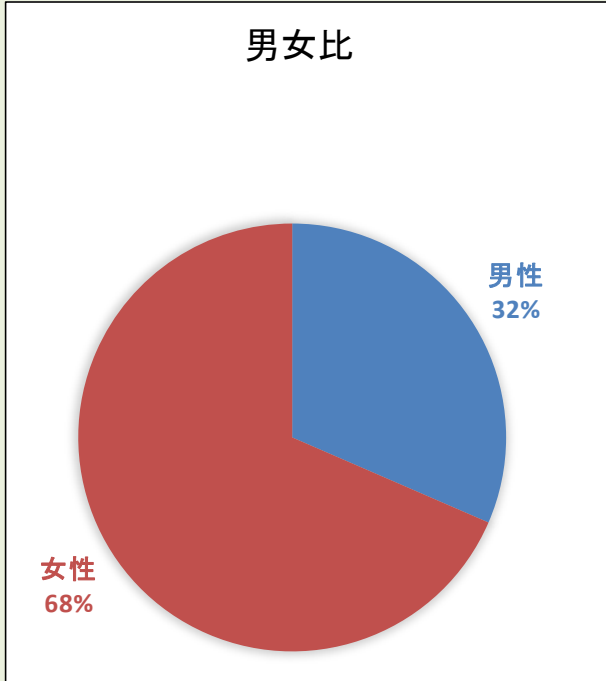
【黒烏龍茶について】

烏龍茶は茶葉を半発酵させたものであり(強発酵:紅茶、不発酵:緑茶)、茶葉が「烏のように黒く龍のようにねじれている」ことから烏龍茶と名付けられた。烏龍茶は油を落とす作用があるため中国ではフィンガーボールとして使用されており、また、福建省では循環器系疾患による死亡者数が少ないことから福建パラドックスと言われ、烏龍茶の日常的飲用がその要因と考えられている。このような背景から烏龍茶のトクホ開発が進められた。烏龍茶の効能成分は“黒”の色素成分であるウーロン茶重合ポリフェノール(OTPP)、すなわち8種類のカテキンモノマー類が主に2~5量体として重合した成分が主体であると考えられる。OTPPは腓リパーゼ活性を阻害することにより消化管での脂肪分解を阻害する。その結果、脂肪の吸収が抑制されて便中脂肪排泄量が増加するため、黒烏龍茶は血中中性脂肪上昇抑制効果を有する。また、1日1本・3カ月間の継続的な摂取により内臓脂肪面積が減少することも確認され、さらに、1日2本16週間の摂取では、腹部全脂肪面積(皮下+内臓)も認められたため、体に脂肪が付きにくいトクホとしても承認されることとなった。

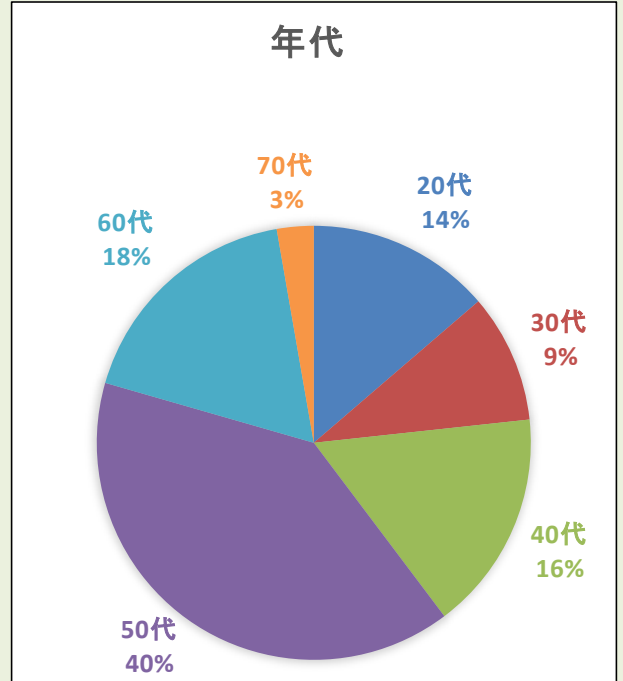
「第6回 日本くすりと食品機能フォーラム」受講者(回答者)の概要

回答 73名(72%)/ 102名

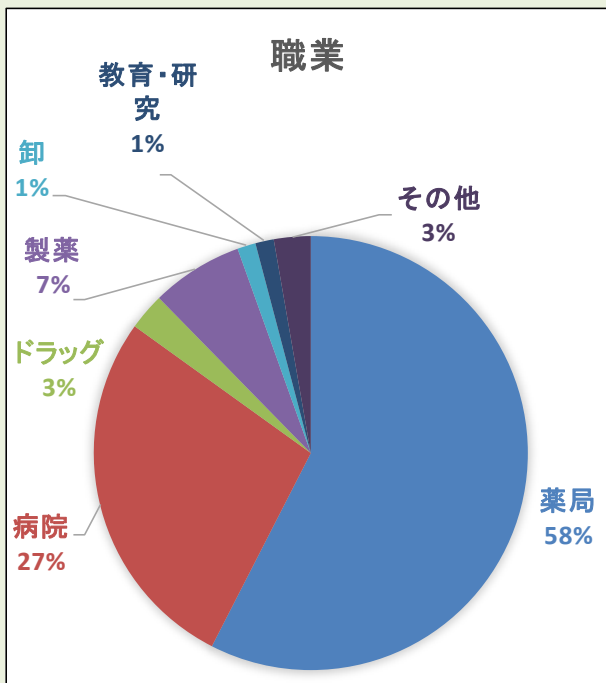
男女比



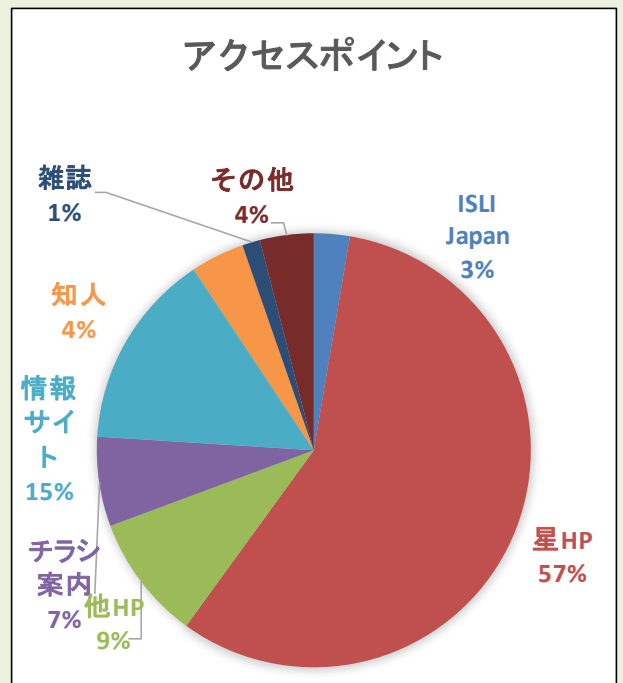
年代



職業



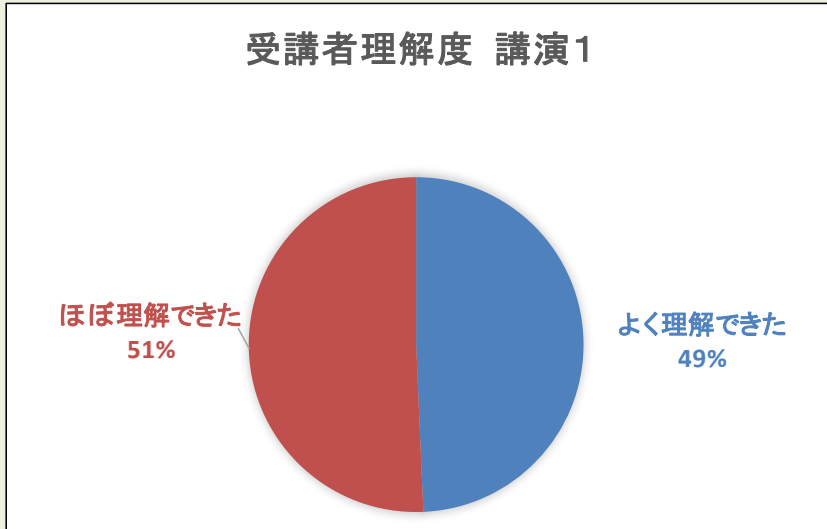
アクセスポイント



「第6回 日本くすりと食品機能フォーラム」講演の受講者理解度

講演 1

「水溶性食物繊維の機能性と医療分野での実施例」



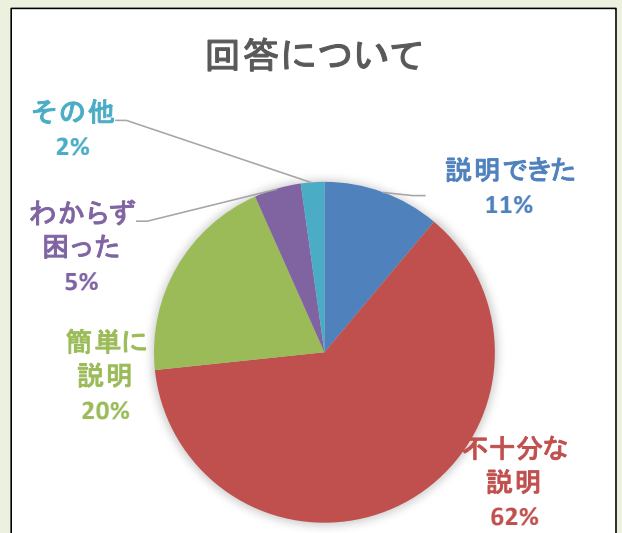
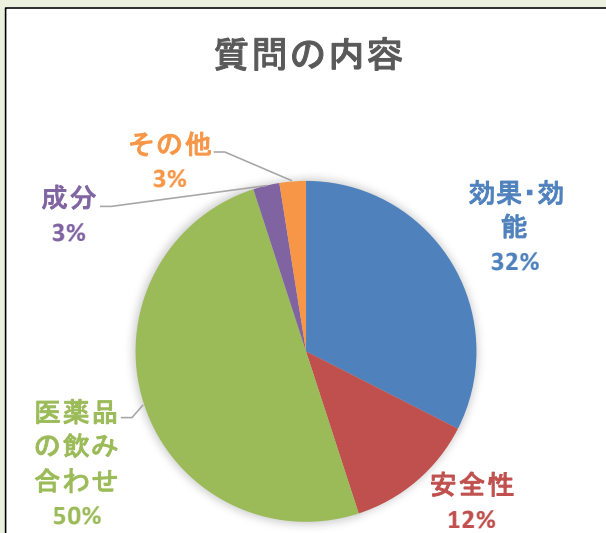
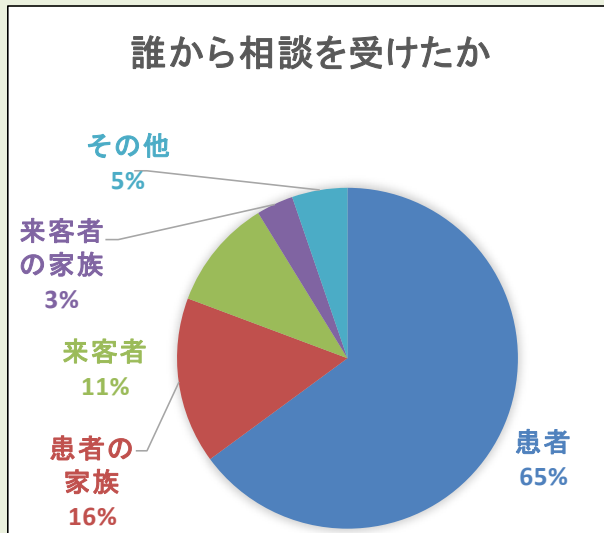
講演 2

「特定保健用食品『黒烏龍茶』の開発」



「第6回 日本くすりと食品機能フォーラム」

患者様、あるいはお客様からの機能性食品(トクホを含む)に対する質問、相談について



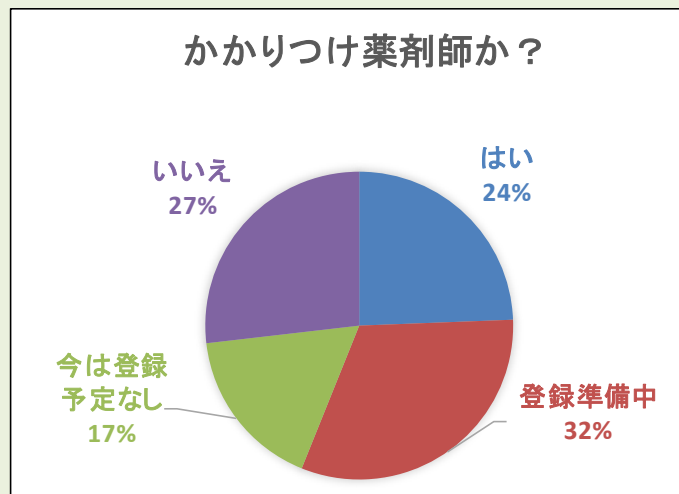
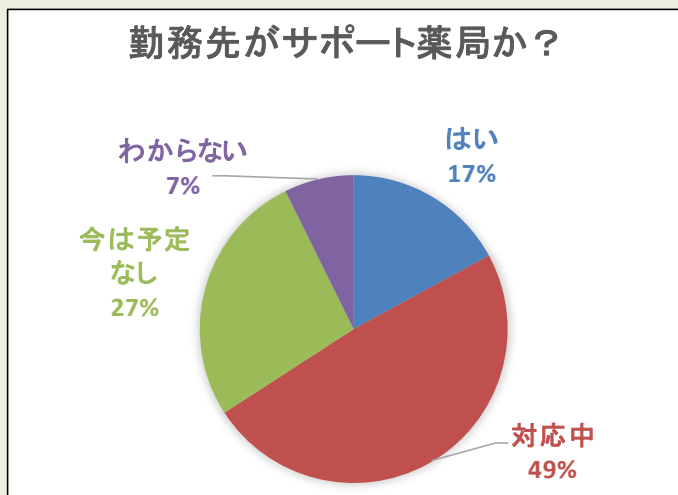
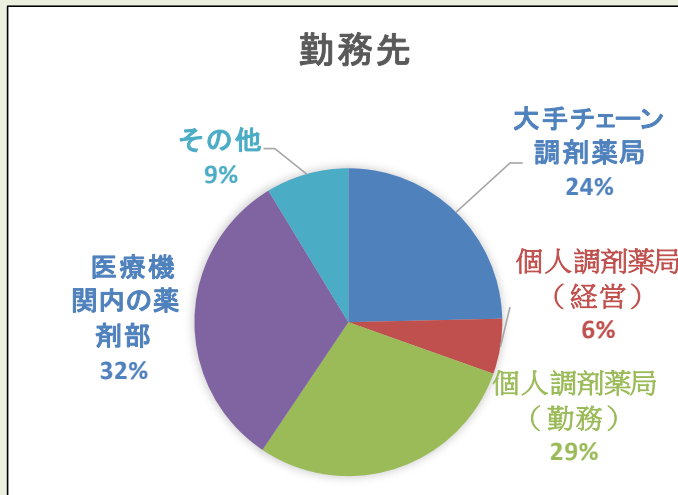
サマリー

患者本人や患者の家族から「医薬品との飲み合わせ」「効果・効能」についての質問や相談を受ける事が多いが、十分な説明が出来ていないようである。

「第6回 日本くすりと食品機能フォーラム」

健康サポート薬局に関するアンケート

保険薬局勤務の方へ



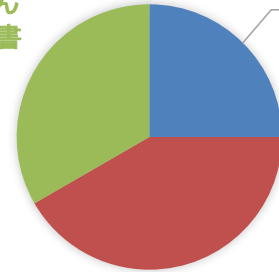
「第6回 日本くすりと食品機能フォーラム」

健康サポート薬局に関するアンケート

かかりつけ薬剤師の方へ

かかりつけ薬剤師で 大変と感じること

患者さんの
誓約書
33%



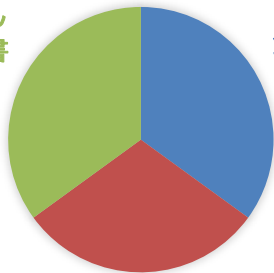
資格の維持
25%

勤務時間シフト
42%

かかりつけ薬剤師準備中の方へ

かかりつけ薬剤師登録の 準備で大変なこと

患者さんの
誓約書
35%

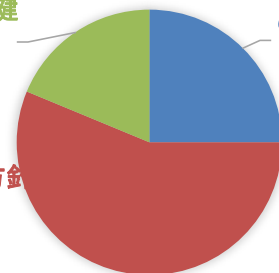


資格取得
35%

勤務時間シフト
30%

かかりつけ薬剤師の登録を 準備する理由

患者さんの健
康維持
19%



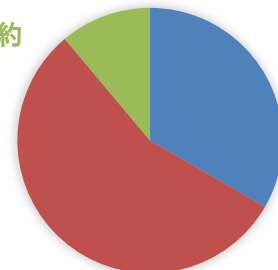
調剤報酬額
の維持・増額
25%

勤務の指示・方針
56%

かかりつけ薬剤師の登録を 考えていない方へ

かかりつけ薬剤師登録を 考えない理由

患者さんの誓約
書提出困難
11%



資格を取
得してい
ない
33%

勤務時間
シフト
56%

「第6回 日本くすりと食品機能フォーラム」

健康サポート薬局に関するアンケート

健康サポート薬局(かかりつけ薬局)についての意見・感想

- ちょっとした不調や不安の相談ができると、地域に根ざした対応や医療費削減につながると思う。
- 広い知識が、必要だと思う。
- 医療機関の治療方針もあるので、どこまで手を出すか難しい。
- 異業者との、コミュニケーションが必要だと思う。
- 薬局にきて相談する患者の病状を、医師に近いレベルで診断するのは難しい。
- 薬剤師が知っておくべき病態レベルをガイドラインに示してほしい。
- 以前からかかりつけ薬局として対応しているので、改めて契約し料金を取るのは難しい。
- 病院と密に連携しやすい形式ができればいいと思う。
- 高齢化社会を迎え、患者個々の健康管理がさらに必要になってきている。
- 幅広い薬局を目指してほしい。
- かかりつけ薬剤師に必要な認定薬剤師を取得しても、職場では生かせないと思う。
- 自己研鑽の足がかりとして、認定薬剤師を目指している。
- かかりつけ薬剤師を取得するには、経験や勤務期間の条件が難しい。
- 自分たちの仕事に責任を持たなければならない。